

取り組みテーマ	2022年目標	2022年取り組み状況
1.事業競争力・開発力向上		
社会課題解決商品・サービス開発	NICUに入院する等の専門的なサポートが必要な赤ちゃんご家族を取り巻く課題を解決する新規商品・サービスの創出	<ul style="list-style-type: none"> 初乳採取の手法を簡単にし、かつ、大切な初乳を1滴でも多く集められるように工夫した初乳採取サポートデバイス「Precious Drop」を発売[日本] 乳幼児の皮膚バリアを考慮した低出生体重児用オイル「ベビー護理油」を発売[中国] ドナーミルクご利用家族向け「情報Book」を発行(利用67施設)[日本]
	赤ちゃんご家族を取り巻く課題を解決するための活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> プレママやママに対し、母乳育児をはじめ育児全般の情報をウェビナーや公式SNSで発信 赤ちゃんにやさしい未来を実現するために、社会全体で考え行動に繋げる取り組み「Baby Friendly Future Project」の一つである中学生向けの教育プログラム「赤ちゃんを知る授業-赤ちゃんにやさしい未来のために-」を希望する学校へ教材を無償で提供。また、ビジョン社員が出向いて行う授業を実施。2022年4月~2023年3月で、本プログラムの授業を実施した学校数143校、授業を受けた生徒数11,845人[日本]
AI/IoTによる生産性向上	ITツールの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> AIチャットボットによる問合せ解決率83%[中国] RPAツールを活用したシステム基盤運用業務の活用範囲を拡張[日本] ワークフローシステムによる申請を拡大し、ペーパーレスと業務効率化を促進[日本]
商品開発プロセスの効率化による生産性向上	商品開発プロセスの見直し	<ul style="list-style-type: none"> シンガポール事業へ開発プロセスの一部権限移譲を実施することで、発売までのスピードを向上
製品品質維持・向上	品質改善活動の継続	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容を追加し、「品質と安全性の取り組み」Webサイトを更新 品質管理に関する原則に基づき、工場各社で品質改善活動を継続実施
2.持続的な環境負荷軽減		
環境方針・環境ビジョンの明確化	環境方針・環境ビジョンの明確化	<ul style="list-style-type: none"> 環境ビジョン「Pigeon Green Action Plan」策定を議題とするサステナビリティ委員会を3回開催
地球温暖化対応	CO2排出原単位 [※] 2018年度比 10%削減 ※売上高当たりスコープ1&2 CO2排出量	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出原単位 2018年度比56.8%削減 CO2排出量(総量) 2018年度比58.4%削減 電力使用量全体に占める再生可能エネルギー使用割合 17% (RECは含まない) TCFD提言に基づき、哺乳器・乳首、スキんケアビジネスを対象とした気候関連リスク及び機会の定性的な分析を行い、その結果を「ビジョングループ TCFD Report 2022」で開示 ソーラーパネルの新規設置 [ビジョンマニュファクチャリング兵庫、中央研究所、筑波事業所]、増設 [インドネシア] 再生可能エネルギー(電力)の購入開始(中央研究所)
	サプライチェーン排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 日本事業、ランシノ事業におけるスコープ3温室効果ガス排出量の算定結果(2020年12月期)を開示 中国事業、シンガポール事業におけるスコープ3温室効果ガス排出量の算定を開始
環境配慮型商品・パッケージ	環境配慮型商品・パッケージの新規創出	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン環境ラベル表示基準を満たす商品数(累計): 330SKU、進捗率: 63% [日本] 森林認証紙採用パッケージ数(累計): 234SKU [日本]
プラスチック削減	石油由来のプラスチック、バージン原料の削減	<ul style="list-style-type: none"> バイオマスプラスチックを採用した哺乳器商品の上市[シンガポール] バイオマスプラスチック採用パッケージ数(累計): 20SKU [日本] リサイクルプラスチック採用パッケージ数(累計): 51SKU [日本]
	プラスチックリサイクルシステムの検討	<ul style="list-style-type: none"> 哺乳器リサイクルキャンペーンの実施: 52,837本(PPSU160ml重量換算)の哺乳器を回収^{※1}[シンガポール] ベビー用品の大手小売企業と協働し、ビジョンの哺乳器の回収および再資源化の実証実験を開始: プラスチック製哺乳びん、ガラス製哺乳びん、乳首、パーツ等合計で7,437個回収^{※2}[日本] PPSU哺乳器の回収を実施(返品含む): 1,660kg回収^{※3}[中国]、 ^{※1}回収期間: 2019年~2023年1月、^{※2}回収期間: 2022年8月25日~2023年2月末、^{※3}回収期間: 2022年1月~12月
汚染の予防	産業廃棄物原単位 [※] 年1%削減 ※売上高当たり非リサイクル産業廃棄物量	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物原単位 2021年度比 28%削減 リサイクル率の向上94%(再利用およびサーマルリサイクルを含む)
環境負荷軽減のナレッジ共有	環境負荷軽減のナレッジ共有	<ul style="list-style-type: none"> グループ全社でESG活動のナレッジを共有
環境マネジメントシステムの導入	グループ工場でのISO14001取得率 100%	<ul style="list-style-type: none"> グループ工場取得率 100% (2020年達成済)
環境対策コストのねん出	各拠点における環境対策活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点における環境対策活動を進行中
3.ステークホルダー対応力向上		
CSR調達の推進	CSR調達方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> 2022年調査は、ビジョン株式会社・PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.・PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.・ランシノ事業各販売会社全ての一次外部サプライヤー、日本及び中国の生産子会社の主要サプライヤーの合計247社を対象に実施 (236社より回答、回答率96%) アセスメント調査結果をWebサイトにて開示
消費者への責任ある対応	VOC(Voice of Customer)活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> 消費者志向自主宣言の活動状況を開示[日本] 第7回ACAP消費者志向活動表彰において「消費者志向活動章」を受賞[日本] お客様の声を経営層や関連部門と共有し、商品やサービスの向上に活用
地域に対する社会貢献活動	社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 早産児支援(日本母乳バンク協会のゴールドスポンサー[日本]、中国春苗慈善基金会のメインパートナー[中国]、母乳バンクへさく乳器等の商品提供や寄付[ベトナム、インド]) 口唇口蓋裂児支援(口唇口蓋裂児用哺乳器の寄付やNGOとの連携による支援) 植樹活動・森林保全 林野庁が主催する「森林×炭素チャレンジ2022」において「森林の有する公益的機能発揮への貢献」部門で受賞[ビジョン] 事業所周辺の清掃活動 病院や支援団体への寄付 企業主導型ボランティア活動開始(社員31名参加、ボランティア従事総時間146時間)[ビジョン]
株主・投資家との責任ある対話	IR面談件数年間300件以上	<ul style="list-style-type: none"> IR面談件数 332件 (2022年12月期合計)
4.人材の「質」の向上		
人材育成方針の明確化	人材育成方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> 「人材育成方針」をWebで開示。グループ全社にも方針を共有
グローバル人材育成・採用	グローバル人材育成プログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> グローバル人材育成のためのGlobal Leadership 研修を実施。この研修を通して現地で活躍することをゴールとしたグローバルプレーヤー12名、日本国内に軸足をおきながら海外に絡む仕事をするグローバルサポーター29名を選定[ビジョン]
各部門の専門性強化	専門性が強化される教育体系の整備	<ul style="list-style-type: none"> 各部門別に求められるテクニカルスキルを各部門別、役割等級別に整備し、それに基づいて人材育成がなされている[ビジョン]
5.働きやすい環境づくり		
ダイバーシティの推進	ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョン方針策定[ビジョン] 育児休業からの復職率: 83% (対象者6名中5名が復職)[ビジョン] 育児休業から復職した社員の定着率: 100% [ビジョン]
	女性管理職比率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 2020/12期 40%、2021/12期 43%、2022/12月期 40%[ビジョングループ] 2020/12期 21%、2021/12期 24%、2022/12月期26%[ビジョン]
	男女の1か月以上の育児休業取得率 100%維持[ビジョン]	<ul style="list-style-type: none"> 2016年1月期から対象社員100%取得継続(2022年: 男女計18名取得)[ビジョン]
多様な働き方への取り組み	多様な働き方を推進する制度の拡充	<ul style="list-style-type: none"> LGBTQ+に関する取り組みとして、ファミリーシップ制度や相談窓口の設置[ビジョン] ライフデザイン休暇・休職取得者実績: 2022年1名取得[ビジョン] 介護休業・介護休暇取得者実績: 2022年5名取得[ビジョン] 時間単位有給休暇の導入[ビジョン]
ワークライフバランスの推進	有給休暇取得率 70%以上[ビジョン] 健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得率 83% (2021年 70%、2020年64%) [ビジョン] 経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定[ビジョン]
6.強固な経営基盤の構築		
新たな人事制度の導入	新たな人事制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> 2021年1月リリースの新人事制度の運用について、全社員アンケートによる浸透度、効果測定を実施。この結果を受けて2023年以降、人事制度の運用とルールの見直しを行う[ビジョン]
リスクマネジメント	リスク対応力を強化	<ul style="list-style-type: none"> GHOリスクマネジメント委員会を年2回開催 重点リスクとして「コンプライアンス」「財務」「情報セキュリティ」「SCM(サプライチェーンマネジメント)」「顧客苦情」を特定し、グループ横断でのリスク管理を実施
コンプライアンス強化	コンプライアンス強化施策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ビジョングループ全社において、コンプライアンス概論教育を継続して実施 内部通報制度について、2023年より稼働可能となるよう匿名性担保と多言語対応を可能とするシステムの導入準備を完了し、当該システムの利用方法の周知を実施 グローバルコンプライアンスポリシー(「贈収賄・腐敗防止」「競争法」「情報管理」)に関して、ビジョングループ全社において運用可能となるよう、周知・体制の整備等を実施
ブランド力強化	ブランド施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 3年連続で「Best Japan Brands 2022」に選定され、順位は65位。ブランド価値については前年比3%向上 各種インナー・アウターブランディングプロジェクトの企画、実行および各事業部の施策を支援 グループ各社とブランド情報共有定例ミーティングを実施
ESG対応力向上	ESG取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会を年3回開催 ESG外部評価が向上し、SOMPOサステナビリティインデックス、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index、FTSE Blossom Japan Indexに組み入れられた CDP気候変動質問書2022に初めて回答し、12月に「B」スコアを獲得 非財務KPIを設定し、課題解決に向けたPDCAを実施 Webサイトでの非財務情報の開示充実(グループ全社の取り組み紹介ページ「わたしたちの活動」15記事掲載) 社員へのESG浸透のため、ESGをテーマとした社内報をグループ全社員へ年4回発信